

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
1	691	教育委員会事業	教育局教育総務課	つくば市の教育行政の具体的な施策の推進・充実を図る。	定例教育委員会を毎月1回開催 必要に応じて臨時会を開催委員会における事務事業の適正化を図る。	定例教育委員会12回臨時教育委員会2回教職員と教育委員との懇談会2回会議において、教育長と教育委員の合議により、大所高所からの基本方針を決定するとともに、具体的な施策についての審議を行い、教育行政の推進・充実を図ることができた。
2	692	奨学金支給事業	教育局教育総務課	教育の機会均等や有用な人材育成を図る。	奨学生選考委員会において選考し、教育委員会において決定した奨学生一人当たり月額6,000円を支給（1年間、定員25人）	4月奨学生の募集受付7月奨学生選考委員会の開催7月、11月、3月奨学金支給3月振り返りレポートの受付 勉学の意欲がありながら、経済的な理由によって修学が困難な者に対して、奨学金を給付し、教育の機会均等及び有用な人材育成を図ることができた。
3	693	英語指導助手配置事業	教育局教育総務課	コミュニケーション能力の向上と国際理解教育を推進する。	外国籍の外国語指導助手（ALT）を市内小中義務教育学校に配置し、巡回させて、担当教諭との連携により外国語活動及び英語指導を実施する。	市内全小中義務教育学校に外国語指導助手29名を配置し、担当教諭と連携した外国語活動及び英語指導を実施した。また、コロナ休校対策として、オンライン学習教材の作成に協力した。 聞く・読む・話す・書くを通して児童・生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに、国際理解教育を推進することができた。
4	694	学校教育専用バス管理事業	教育局教育総務課	学校教育専用バスの運転管理業務を委託し、市立幼小中義務教育学校が行う園外保育や校外学習等体験活動の機会を提供し、児童・生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図る。	学校規模や前年度実績をもとに利用回数を配分し、学校教育用大型バス2台の円滑な利用と適正管理を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、バスの稼働日数は例年に比べて減ったものの、園外保育、校外学習等を実施し、児童生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図ることができた。
5	695	豊かな心育成事業	教育局教育総務課	小中一貫教育の推進を図るとともに、児童生徒の情操を深め、豊かな人間性を育成する。	学園単位で芸術鑑賞会等の情操教育事業を実施するとともに、参加する児童生徒の交流会等を補助する。 また、6年生を対象として、舞台芸術鑑賞事業を実施する。	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の芸術鑑賞の機会の確保が危ぶまれたが、5学園においては事業が実施でき、児童生徒の豊かな人間性を育むことができた。 一方で、同感染症の影響から、例年1月に実施していた6年生を対象にした劇団四季による無料での舞台芸術鑑賞事業については、劇団側の都合もあり中止となった。
6	696	ゲストティーチャーと連携した体育の専門的な指導事業	教育局教育総務課	1～6年生の健やかな体の育成及び体力づくり並びに地域社会の連携による教育を推進する。	ゲストティーチャーとして、NPO法人つくばFCのコーチングスタッフ（日本サッカー協会公認指導者）及びトレジムつくばのスタッフを、希望のあった小学校及び義務教育学校に派遣し、専門的な見地から体育の授業を行う。	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、つくばFCによる指導は8校、トレーニングジムつくばによる指導は1校と、対前年度比で14校減となった。実施校においては、感染症対策の措置を十分に行った上で、専門的な見地から、地域との連携に基づく児童の健やかな体づくりを行うことができた。
7	699	全国及び関東各種大会出場補助事業	教育局教育総務課	児童及び生徒のスポーツ活動及び文化的活動の練習意欲の向上並びに児童及び生徒の保護者の費用負担の軽減を図る。	小学校、中学校及び義務教育学校の児童及び生徒が、次に掲げる大会のうち、学校長の管理の下に関東大会以上の大会に県内の予選等を経て参加する際に交通費、宿泊費等の補助を行う。 1日本中学校体育連盟が主催する体育大会 2全日本吹奏楽連盟、全日本合唱連盟等が主催する音楽コンクール 3JOCジュニアオリンピックカップ 4その他教育長が必要と認めた事業	新型コロナウイルス感染症の影響下により、補助対象大会のほとんどが中止となってしまったものの、開催することができた一部大会や、今年度のみ代替的に開催された大会に出場する児童・生徒に対しては補助を行うことができ、練習意欲の向上及び心身の健全育成を図ることができた。また、保護者の経済的負担を軽減することができた。補助件数は全10件。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
8	700	不登校児童生徒教室運営支援補助事業	教育局教育総務課	不登校児童生徒の再登校や進学の際の困難を軽減する。	不登校児童・生徒のために、学習支援を行っている団体に補助金を交付する。	4月に要項を作成し、補助金の交付を行うことにより、適正な運営を支援することができた。
9	702	学校ボランティア活動支援事業	教育局教育総務課	ボランティア活動をしやすい体制を整備する。	ボランティア保険に加入し、ボランティア活動時の事故等の際に手続きを行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初は学校におけるボランティア活動の実施が難しい状況もあったものの、年間で867名のボランティア登録があり、交通安全ボランティアや校外学習時の引率などの活動を実施するに当たり、活動しやすい環境の整備及び充実を図ることができた。
10	703	市PTA連絡協議会への補助事業	教育局教育総務課	市PTA連絡協議会の育成、教育講演会の開催、他地域のPTA団体との交流を支援し、活動の活性化を図る。	市PTA連絡協議会が運営する各種事業等に対し補助金を交付する。	要項作成、補助金の交付、実績報告・清算を行うことで、市PTA連絡協議会が開催する事業の補助を行うことができた。
11	704	地域との連携による学校の防災力強化推進事業	教育局教育総務課	学校、地域、家庭、行政が連携して防災教育の取組を実施することで学校の防災力を強化するとともに、児童生徒や地域住民の災害に対応する実践的な能力などの育成を図る。	学校防災推進委員会を設置し、防災力強化を推進するとともに、防災研修会を実施する。 学校、地域と連携し、防災マップを制作する。 ※行政改革アクションプラン「72地域との連携による学校の防災力強化推進事業」該当	学校防災推進委員会の開催（新型コロナウイルス感染症対策のため書面審査）、上郷小学校、東小学校、竹園西小学校を対象とした防災マップの作製、各学校における地域と学校が連携した防災訓練等の取組を通じて、防災力強化を図ることができた。
12	705	つくば市教育長表彰事業	教育局教育総務課	スポーツや文化芸術など多方面で優秀な成績を収めた児童生徒の功績を称えとともにさらなる飛躍や活躍を図る。	年度内に開催された各種大会やコンクール等において、優秀な成績を収めた市内の小中学校に在籍する児童生徒に対して、その功績を称えるためにつくば市教育長賞を授与する。	小中学校及び義務教育学校から推薦のあった児童生徒のうち、選考基準に基づき、つくば市教育長賞（60件）を授与した。 スポーツや文化芸術など、多方面で優秀な成績を収めた児童・生徒に対して、褒状を授与することにより、その功績を称えとともに、さらなる飛躍や活躍を図ることができた。
13	706	学校評議員活動支援事業	教育局教育総務課	学校についての理解を深め、学校・家庭・地域が連携しやすい環境づくりを進める。	各学校長及び各幼稚園長から推薦を受けた評議員に委嘱状交付する。	つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則及びつくば市立幼稚園管理規則に基づき、学校長及び幼稚園長から推薦のあった261名に、学校協議員を委嘱した。 評議員から幅広いご意見をいただくことで、学校が家庭や地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進が図れた。
14	707	学校災害賠償保険事務	教育局教育総務課	事故又は風水災害等による教育局管理施設の修理代や児童・生徒への補償金など、法令に基づく市の費用負担に対して保険金の支出を行う。	教育局管理施設について、全国市有物件災害共済会の建物損害保険及び全国市長会の賠償責任保険に加入する。 事故等の対応を実施する。	事故や災害等に対応し、円滑に保険料の支払いや受け取りの体制を整え、保険金請求の対応に当たることができた。また、廃校施設の取壊しを行った建物の保険加入を解約して保険料の返戻を行ったり、非リースで建築している増築校舎の新規建物保険加入を行ったり、学校教育専用バスの保険加入を行ったりするなど、適正な保険の加入状況の管理を行った。さらに、損害賠償保険の対応を1件実施した。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
15	708	つくば市立学校市費負担非常勤講師配置事業	教育局教育総務課	児童生徒の学力を向上させるとともに、よりスムーズに学校生活に適應できるようにサポートする。	教育内容の多様化、複雑化及び今日的な教育課題の顕在化に伴い、児童生徒ひとりひとりの個性や習熟度に応じたきめ細やかな教育指導を実践する。 市独自に担当教員のサポート役となる非常勤講師（つくば市立学校市費負担非常勤講師）を配置する。	市内小学校14校に各1名、市費非常勤講師を配置した。 各学校の課題や状況に応じて、各校に配置した非常勤講師が授業や生活面での支援を行うとともに、教職員の負担を軽減することができた。
16	709	人権教育推進事業	教育局教育総務課	同和問題等の人権問題について、偏見を持たず、差別を行わない児童・生徒の育成を図る。	つくば市人権教育基本計画に基づき、人権教育研修会や講演会へ参加する。 人権啓発ポスター展を開催する。	5月・3月人権教育推進協議会の開催、7月人権啓発ポスター募集、通年人権教育研修会及び講演会への参加 同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、人権尊重の精神を基調とし、啓発活動や人権研修を推進することにより、偏見を持たない児童・生徒の育成を図ることができた。
17	710	学校事務の効率化・簡略化の推進事業	教育局教育総務課	児童生徒と向き合う時間を確保する。	市内45校を5グループに分け、学校事務を共同で処理することにより、教職員の校務を軽減し、事務職員の事務処理のスキルアップを図る。 教職員の働き方改革に関する実行計画について、進捗管理を行う。	各グループで事務を共同実施（月に2～3回）、グループ間の連絡調整のための企画会を実施 5月13日に学校事務共同実施協議会会議を開催、第2回については書面報告とした。 各グループでの相互確認点検により、より適切かつ正確に事務が処理された。学校事務間で情報共有を図ることができたほか、教育局からの情報提供や提案についても、効率よく周知することができた。
18	711	教育広報事業	教育局教育総務課	教育現場と家庭・地域の連携による、より良いつくば市の教育環境づくりを促進する。	教育委員会の取り組み、成果、市立の小中学校・幼稚園における教育活動等に関する情報発信（広報紙の発行及びホームページへの掲載） 教育委員会の組織、事業予定、予算、児童生徒数、教育施設等のつくば市の教育概要を掲載した冊子を作成	6月に「つくばの教育概要2020」、12月に教育広報「つくばの学び舎」を発行した。 また、ホームページを利用して教育局の取組等を発信するなど、市民に対して積極的に教育に関する情報を発信し、つくば市の教育に対する理解を深めることができた。
19	712	教育統計調査事業	教育局教育総務課	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を調査し、明らかにする。	国及び県による各種統計調査の実施 学校基本調査、学校教員統計調査（3年に一度）、地方教育費調査、中学校等生徒の卒業後の進路希望調査・進路状況調査等	学校基本調査では学校教育行政に必要な基本的事項の把握、進路状況調査・進路希望調査では、進路指導等へ活用することができた。また地方教育費調査では、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における地方公共団体から支出された経費等の実態を明らかにすることで、今後の教育諸施策を検討・立案するための基礎資料とすることができた。
20	713	事務事業の点検評価及び教育振興基本計画の進行管理事務	教育局教育総務課	効率的・効果的な質の高い教育行政を目指す。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の事務事業の点検・評価を実施する。 事務事業は内部評価を実施するほか、学識経験者等からの意見を受け、各事業の改善及び適正化に反映させる。 点検・評価の実施に当たっては、教育プランの進行管理を踏まえたものとする。	教育に関する事務の管理及び執行の状況について、内部評価を実施するほか、外部の学識経験者による評価を実施するとともに、教育プランの進行管理を実施した。
21	714	叙位・叙勲事務	教育局教育総務課	学校教育関係者で社会に対する功労があったものに栄誉を表彰する。	春秋叙勲、高齢者叙勲受賞者の内申及び伝達を行う。 死亡叙位・叙勲の内申及び遺族への伝達を行う。（教育関係の職務に30年以上従事し、満88歳になる前に死亡したものに対して。）	高齢者叙勲を4名行った（内申中の者1名） 学校教育関係者（元学校長）で功績顕著な者について、その功労に対し、叙勲の恩命に浴びせしめることができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
22	715	教職員の人事に関する事務	教育局教育総務課	適材適所の人事配置による組織の活性化及び教育効果の向上	年度末、年度始に行う教職員人事異動の内申事務手続き辞令交付式の開催	年度末・年度始めに行う教職員人事異動の内申事務手続き及び辞令交付を行った。適材適所の人事配置により、組織の活性化及び教育効果の向上を図ることができた。 令和2年度末異動者退職者51名、転出者（行政等への転出含む）76名 令和3年度始め異動者新規採用100名、転入者90名
23	716	後援名義許可事業	教育局教育総務課	つくば市の教育、学術、文化及びスポーツの振興を図る団体に対して、後援名義の使用を承認する。	団体等からの後援名義使用申請について、つくば市教育委員会の教育目標、方針等に沿った事業に後援名義の使用を承認する。	教育委員会の教育目標・方針等に沿った事業に対して、後援名義の使用を承認することで、教育、学術、文化、スポーツの振興を図ることができた。（申請件数80件、承認件数80件、不承認件数0件）
24	717	省エネ法改正に伴う中長期計画書作成事業	教育局教育総務課	エネルギー使用状況を把握し、エネルギー使用の合理化を図る。	教育委員会施設のエネルギー使用量について、定期報告書・中長期計画書を、7月末に国へ提出する。 ※使用量の調査・計画書作成は、管財課で一括委託	法令に基づき、7月に報告書及び中長期計画書を提出し、エネルギーの合理的使用を図った。なお、予算縮減のため施設等での現地診断は実施していない。
25	718	教育に関する団体等への負担金	教育局教育総務課	教育行政を円滑に遂行する。	関連団体等に負担金を納付する。 中学校体育連盟、教科書図書選定協議会 学校警察連絡協議会、学校長会、教頭会、教務主任会 教育研究会、事務職員会	関連団体に負担金を納付し、教育行政活動を円滑に遂行するための一助となった。（対象：中学校体育連盟、教科書図書選定協議会、学校長会、教頭会、教務主任会、教育研究会、日本義務教育学会）
26	719	庶務・臨時職員	教育局教育総務課	業務の円滑な遂行	消耗品及び図書等の計画的整備	消耗品や図書の整備を計画的に実施し、業務が円滑に進んだ。
27	720	就学事務事業	教育局学務課	翌年度からの就学予定者を含め学齢児童生徒を把握し、適切に義務教育諸学校へ就学させる。	学齢簿の編製、入学期日・学校指定の通知、区域外就学などを行う。	5,139通の就学通知を発送。学区外就学：516件、区域外就学：155件、指定学校変更：97件、私立小学校、私立中学校、県立学校：406件計；1,174件の申請を適切に判断し処理を実施。 就学通知を発送し、就学事務手続きを通して、適切に義務教育諸学校へ就学させた。また、申請者に対し、適切な判断結果を通知できた。
28	721	幼保小連携教育推進事業	教育局学び推進課	幼稚園児及び保育所児童の発達や学び、育ちを就学後につなぐ。幼保小各施設間の問題解決や接続期の教育の充実を図る。	幼稚園児、保育園児及び小学生の交流事業。 教師間の合同研究会の開催。	学園内における教師間の研修や、保育参観・授業参観を通した幼保小連携を推進することができた。保育施設におけるアプローチ・カリキュラムや小学校におけるスタート・カリキュラムを作成し、保育・教育内容における接続を推進した。市指定研究発表会の取り組みを、市内保育施設・小学校間で共有した。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
29	722	学校等適正配置事業	教育局学務課	幼児、児童、生徒への教育環境の整備や幼稚園及び学校運営の充実等を図る。	関係各課と連携し、児童・生徒数の推計値と現状値の比較 学区審議会を開催し、新設校の学区を審議する ※行政改革アクションプラン「58小中学校の適正配置」、「59幼稚園の適正配置」該当	学区審議会を開催し、新設校の学区に関し、慎重な審議を行うことが出来た。
30	723	スクールバス運行事業	教育局学務課	学校の統廃合に伴い、登校距離が急変となった児童等の送迎を行う。	スクールバスによる対象児童等の送迎	統廃合に伴う遠距離児童・生徒の通学手段及び安全を確保することができた。
31	724	小学校臨時職学校管理員配置事業	教育局学務課	正職員の学校管理員が配置されていない小学校及び義務教育学校（前期課程）の校内環境整備を図る。	正職員の学校管理員が配置されていない小学校及び義務教育学校（前期課程）に、会計年度任用職の学校管理員を雇用する。	正職員が配置されていない小学校28校及び義務教育学校1校に学校管理員を配置したことで、校内の環境整備及び学校機能の充実を図ることができた。
32	727	小学校特別支援教育就学奨励事業	教育局学務課	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者又は特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的な負担軽減及び児童の就学奨励	世帯の収入額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。	該当する児童の保護者に補助金を支給したことで、経済的な負担を軽減することができた。
33	728	小学校要保護等児童就学援助事業	教育局学務課	児童の就学に関する援助	世帯の収入額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯、学校長及び民生委員意見等を総合的に審査して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、学校給食費、修学旅行、トレジャツ費の一部または全額を支給する。	該当する児童の保護者に援助金を支給したことで、経済的な負担を軽減することができた。
34	729	小学校教材整備事業	教育局学務課	小学校及び義務教育学校（前期課程）において、児童一人一人に応じたきめ細やかな学習指導を展開する上で必要な教材を整備し、学習環境の充実を図る。	小学校及び義務教育学校（前期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。	小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、児童一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備したことで、学習環境の充実を図ることができた。
35	730	小学校音楽会及び陸上記録会への支援事業	教育局学務課	音楽会及び陸上記録会の会場までの移動手段を支援する。	市内全校参加で行われる音楽会、陸上記録会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給する。	合唱フォーラム等の特別活動に参加するに当たり、バスを借り上げたことで児童の会場への移動手段及び安全を確保することができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
36	731	小学校学校行事記念品購入事業	教育局学務課	教育活動の充実を図る。	卒業記念品等の購入のための予算令達	小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。
37	732	小学校遠距離通学費補助事業	教育局学務課	経済的負担の軽減を図り、もって義務教育の円滑な実施に資する。	4km以上の距離を通学している児童の保護者及び4km未満でバス、自転車に通学している児童の保護者に対して、通学費を補助する。	対象児童に補助金を交付したことで、保護者の負担を軽減することができた。
38	733	小学校教育振興助成事業	教育局学務課	児童の通学時の安全確保、児童の学力の把握	小学校及び義務教育学校（前期課程）の在籍者で自転車通学を行っている児童に自転車用ヘルメットを支給 学力診断テスト用品等の予算令達	自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。
39	734	中学校臨時職学校管理員配置事業	教育局学務課	正職員の学校管理員が配置されていない中学校及び義務教育学校（後期課程）の校内環境整備を図る。	正職員の学校管理員が配置されていない中学校及び義務教育学校（後期課程）に、会計年度任用職の学校管理員を雇用する。	正職員が配置されていない中学校12校及び義務教育学校3校に学校管理員を配置したことで、校内の環境整備及び学校機能の充実を図ることができた。
40	737	中学校特別支援教育就学奨励事業	教育局学務課	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者又は特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的な負担軽減及び生徒の就学奨励	世帯の収入額が生活保護基準の2.5倍未満の世帯に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、学校給食費、修学旅行費の一部を支給する。	該当する生徒の保護者に補助金を支給したことで、経済的な負担を軽減することができた。
41	738	中学校要保護等生徒就学援助事業	教育局学務課	生徒の就学に関する援助	世帯の収入額が、生活保護基準の1.5倍未満の世帯、学校長及び民生委員意見等を総合的に審査して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、学校給食費、修学旅行費、トレシャツ費の一部または全額を支給する。	該当する生徒の保護者に補助金を支給したことで、経済的な負担を軽減することができた。
42	739	中学校教材整備事業	教育局学務課	学習環境の充実を図る。	中学校及び義務教育学校（後期課程）に予算を令達し、学校の実情に応じた教材や図書備品等の整備を行う。	中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、生徒一人一人にきめ細かい学習指導を展開する上で必要な教材を整備したことで、学習機能の充実を図ることができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
43	740	中学校学校行事記念品購入事業	教育局学務課	教育活動の充実を図る。	卒業記念品等の購入のための予算令達	中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、卒業記念品等を購入したことで、教育活動の充実を図ることができた。
44	741	中学校部活動等支援事業	教育局学務課	部活動の環境の整備及び大会会場までの移動手段を支援する。	各部活動用具の購入 各種大会に参加するために使用されるバスの賃借料を支給	各部活動用具の購入のための予算令達や各種大会へ参加するに当たりバスを借り上げたことで生徒の移動手段及び安全を確保することができ、部活動の円滑な推進や保護者の経済的負担軽減に寄与した。
45	742	中学校遠距離通学費補助事業	教育局学務課	遠距離から通学する生徒の経済的負担の軽減を図り、もって義務教育の円滑な実施に資する。	6km以上の距離を通学している生徒の保護者及び6km未満でバス・自転車で通学している生徒の保護者に対し、通学費を補助する。	対象生徒に補助金を支給したことで、保護者の負担を軽減することができた。
46	743	中学校教育振興助成事業	教育局学務課	生徒の通学時の安全確保、生徒の学力把握	中学生及び義務教育学校（後期課程）の在籍者で自転車通学を行っている生徒に自転車用ヘルメットを支給 学力診断テスト用品等の予算令達	自転車通学用ヘルメットを支給したことで、通学時の安全確保に寄与した。また、学力診断テストの実施により個人毎の授業に対する習熟度を測ることができた。
47	746	幼稚園通園バス運行事業	教育局学務課	園児の安全確保と保護者の負担軽減を図る。	通園バスの運行（市立幼稚園16園のうち、9園で実施）	市立幼稚園のうち9園でバスを運行したことで、園児の登下校の安全を確保することができた。
48	747	幼稚園教職員研修事業	教育局学務課	教職員の資質向上を図るとともに、状況に対応できる幼児教育及び手法を習得する。	幼稚園教諭が各種研修会に参加できるよう必要な予算令達を実施 夏期講習会及び研修会への参加、県主催研修への参加 つくば市総合研究会が実施する特別支援関係研修及び論文発表会への参加	研究会や協議会へ参加したことで、幼稚園教諭としての資質の向上が図られた。
49	748	幼児教育振興事業	教育局学務課	地域に根ざした公立幼稚園の実現を図る。	幼稚園で実施する行事等の経費を負担する。	幼稚園で行事等を実施するための適正な予算令達及び執行管理を行い、幼児教育の振興を図ることができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
50	749	幼稚園要保護家庭助成事業	教育局学務課	保護者の経済的負担の軽減を目的とする。	市立幼稚園に通う要保護世帯の園児に給食費を支給する。	該当者なし。
51	750	学校施設台帳加除事業	教育局教育施設課	公立学校施設の現状を把握し、施設設備の促進に資する。	公立小学校、中学校、幼稚園並びに学校給食共同調理場ごとに学校施設台帳を作成する。 台帳には、当該学校の用に供される建物、建物以外の工作物、土地及び児童等の数、その他必要な事項を記載する。	国庫補助事業の執行に関する資料を得るとともに、施設の実態把握ができた。
52	751	小学校施設工事・修繕事業	教育局教育施設課	施設環境の向上を図る。	各学校の状況に応じ施設の修繕工事や防犯対策等を行う。	教育施設環境の向上が図られた。
53	752	小学校教育環境整備工事トイレ改修事業	教育局教育施設課	安全で安心できる教育環境の創出を図る。	劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。	トイレ改修工事を実施し教育環境の改善が図られた。
54	753	小学校管理備品購入・修繕事業	教育局教育施設課	児童生徒用の机椅子等の管理備品を整備し教育環境の充実を図る。	学校規模に配慮しながら運営上必要となる管理備品を整備する。	学校運営に必要な管理備品などを整備し教育環境の充実が図ることができた。
55	754	小学校施設償還金返済事業	教育局教育施設課	都市再生機構の立替施行による償還金の返済	都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。 対象：谷田部南小学校ほか6校	都市再生機構からの請求に対し、円滑に支払った。
56	755	小学校施設開放事業	教育局教育施設課	地域住民等に幅広く活動の場を提供するとともに、学校と地域との連携を進めやすい環境作りに努める。	つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。	活動団体に対して、活動の場を提供できた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
57	756	小学校施設管理委託事業	教育局教育施設課	学校施設の安全性確保、教育環境の向上	法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 施設機械警備及び夜間隔日巡回警備、電気工作物の定期点検（隔月）、消防整備点検、浄化槽点検、特殊定期建物調査及び附帯設備点検、飲料水保守点検、プール保守点検、カーペット清掃、貯水槽清掃他	学校施設の安全を確保することができたとともに、学校運営を円滑に行うための教育環境の向上を図ることができた。
58	757	小学校用地借上げ事業	教育局教育施設課	学校教育環境の向上を図る。	小学校8校28筆合計借上げ面積：29,605.01㎡（前野小学校、栄小学校、北条小学校、谷田部小学校、R2年度から秀峰筑波義務教育学校臨時駐車場用地3筆2,405㎡柳橋小学校、大曾根小学校、吉沼小学校、秀峰学園）	学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。
59	758	小学校教材備品購入・修繕事業	教育局教育施設課	学校教育に必要な教材備品を整備することにより、教育環境の充実を図る。	学校規模に配慮しながら教育に必要な教材備品を計画的に整備する。	教材備品を整備したことで、教育環境の充実を図ることができた。
60	759	小学校耐震化事業	教育局教育施設課	安全で安心できる教育環境を確保するとともに、地域住民の災害発生時における安全な避難場所を確保する。	旧耐震基準で整備した小学校の校舎・屋内体育館について、つくば市耐震改修促進計画及び学校耐震化優先度調査結果に基づき、耐震診断を実施し、耐震性能の劣る建物から順次耐震工事を実施する。	安全で安心できる教育環境を確保した。
61	760	小学校建設事業	教育局教育施設課	小学校の教室不足を解消する。	小学校校舎増築及び職員室改修工事を実施するにあたり、学校との連絡、調整を行う。	校舎増築により、教室不足となる学校を解消することができた。
62	761	中学校施設工事・修繕事業	教育局教育施設課	施設環境の向上を図る。	各学校の状況に応じ施設の修繕工事や雨漏り、給排水等の漏水修繕を行う。	教育施設環境の向上が図られた。
63	762	中学校教育環境整備工事トイレ改修事業	教育局教育施設課	安全で安心できる教育環境の改善を図る。	劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。	トイレ改修工事により、教育環境の改善が図られた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
64	764	中学校管理備品購入・修繕事業	教育局教育施設課	学校教育に必要な教材備品を整備することにより、教育環境の充実を図る。	学校運営の円滑化及び学校教育の充実のため、管理備品を整備する。	学校運営に必要な管理備品を整備し、教育環境の向上を図ることができた。
65	765	中学校施設償還金返済事業	教育局教育施設課	都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。	都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。 対象谷田部東中学校ほか2校	都市再生機構からの請求に対し、支払いを円滑に行った。
66	766	中学校施設開放事業	教育局教育施設課	地域住民等に幅広く活動の場を提供するとともに、学校と地域との連携を進めやすい環境作りに努める。	つくば市における社会体育の振興を図るため、教育委員会所管に属する学校施設及び設備を学校教育に支障のない範囲で定期的・継続的に、市民の使用のため提供する。	活動団体に対し、活動の場を提供できた。
67	767	中学校施設管理委託事業	教育局教育施設課	学校施設の安全性確保、教育環境の向上	法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 施設機械警備及び夜間隔日巡回警備、電気工作物の定期点検（隔月）、消防整備点検、浄化槽点検、特殊定期建物調査及び附帯設備点検、飲料水保守点検、プール保守点検、カーペット清掃、貯水槽清掃他	学校施設の安全を確保できたとともに、学校運営を円滑に行うための教育環境の向上を図ることができた。
68	768	中学校用地借上げ事業	教育局教育施設課	学校教育環境の向上を図る。	中学校6校13筆合計借上げ面積：22,684.90㎡（筑波東中学校、桜中学校、高山中学校、荃崎中学校、高崎中学校、秀峰学園）	学校用地を賃借することにより学校教育環境の向上に大きな成果が得られた。
69	769	中学校教材備品購入・修繕事業	教育局教育施設課	学校運営を円滑にし、学校教育の向上を図る。	学校教育に必要な教材備品を計画的に整備する。	教材備品を整備したことで、教育環境の充実を図ることができた。
70	770	中学校耐震化事業	教育局教育施設課	安全な教育環境の確保、災害発生時における地域住民の安全な避難場所の確保	旧耐震基準で整備した中学校の校舎・屋内体育館について、つくば市耐震改修促進計画及び学校耐震化優先度調査結果に基づき、耐震診断を実施し、耐震性能の劣る建物から順次耐震工事を実施する。	安全で安心できる教育環境が確保できた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
71	771	中学校建設事業	教育局教育施設課	中学校の教室不足を解消する。	中学校校舎増築及び職員室改修工事等を、学校との連絡、調整を円滑に行いながら実情に即した事業を進める。	児童生徒数の推移を確認することにより、校舎増築及び特別教室等の普通教室への転用等を計画することができた。
72	772	幼稚園施設工事・修繕事業	教育局教育施設課	工事原価の適正化及び的確な修繕工事を行い、施設環境の向上を図る。	施設を適切に管理するため、修繕・塗装・土工事などを行うとともに、入札工事については適切な工事費を設定するために設計委託を計上する。	教育施設環境の向上が図られた。
73	773	幼稚園教育環境整備工事トイレ改修事業	教育局教育施設課	安全で安心できる教育環境の改善を図る。	劣化が著しいトイレについて、バリアフリー化、便器の洋式化等の全体的な改修を行う。	教育環境の改善が図られた。
74	774	幼稚園施設管理委託事業	教育局教育施設課	幼稚園施設の安全性確保、教育環境の向上	法令等に基づく各種検査及び施設衛生管理に必要な委託等の実施 施設機械警備及び夜間隔日巡回警備、電気工作物の定期点検（隔月） 消防整備点検、浄化槽点検、特殊定期建物調査及び附帯設備点検、カーペット清掃、貯水槽清掃他	幼稚園施設の安全が確保でき、また、学校運営を円滑に行うための教育環境の向上が図られた。
75	775	幼稚園用地借上げ事業	教育局教育施設課	学校教育環境の向上を図る。	幼稚園2園2筆合計借上げ面積：1,431㎡（高崎幼稚園、大穂幼稚園）	用地の借り上げにより、幼稚園保育環境の向上が図られた。
76	776	幼稚園施設償還金返済事業	教育局教育施設課	教育環境の充実を図る。	都市再生機構の立替施行による償還金を返済する。 対象東幼稚園ほか1園	都市再生機構からの請求に対して、支払いを円滑に行った。
77	777	幼稚園管理備品購入・修繕事業	教育局教育施設課	幼稚園運営の効率化及び幼稚園教育の充実を図る。	幼稚園教育に必要な備品を整備する。	管理備品を整備したことで、教育環境の向上が図られた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
78	778	（仮称）香取台地区小学校建設事業	教育局教育施設課	教育環境の向上を図る。	つくばエクスプレス沿線開発に伴い、島名地区周辺の就学人口増が見込まれ、島名小学校の教室数では対応が困難となり、また、過大規模校解消のため、H35年4月開校を目標に（仮）香台地区小学校を建設する。	令和5年4月の開校に向けて、設計業務を完了した。
79	779	小学校学校保健管理事業	教育局健康教育課	児童の健康の保持増進を図る。	各学校に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、児童の健康管理や学校衛生の管理に努める。 学校飲料水等の安全確保と水質保全のため必要な水質検査を実施する。 学校管理下における児童の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。	健康診断を実施し、児童の健康管理と学校教育環境の維持向上を図ることができた。
80	780	幼稚園保健管理事業	教育局健康教育課	園児の健康の保持増進及び幼稚園教育の円滑な実施を図る。	各幼稚園に幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師を配置し、園児の健康管理や幼稚園環境衛生の管理に努める。 幼稚園飲料水等の安全確保と水質保全のため、必要な水質検査を実施する。 幼稚園管理下における園児の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。	健康診断を実施し、園児の健康管理と幼稚園環境の維持向上を図ることができた。
81	781	就学時健康診断事業	教育局健康教育課	就学予定児童の円滑な就学を図る。	学校保健安全法の規定に基づき、市内に住所を有する翌年度就学予定児童に対し、就学時健康診断を実施する。	学校保健安全法の規定に基づき、就学予定者に対し、あらかじめ健康診断を行うことで、就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適切な就学を図ることができた。
82	782	幼・小・中学校定期健康診断事業	教育局健康教育課	園児・児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。	尿検査の実施（全児童・生徒・園児）、寄生虫検査の実施（全園児） 心臓病検診（1年生、4年生及び7年生）、結核精密検査（該当者） 教職員定期健康診断、運動器検診の実施（全児童・生徒）	各種健康診断を実施し、児童生徒等の健康の維持向上に寄与した。
83	783	学校施設衛生管理事業	教育局健康教育課	学校施設の衛生的な環境の確保を図る。	建築物における衛生的環境の確保に関する法律で定める特定建築物（8,000㎡）に該当する学校施設について、厚生労働省令で定める「建築物環境衛生管理基準」で必要な管理を実施する。	「建築物環境衛生管理基準」で定める必要な管理を実施し、衛生環境維持向上を図ることができた。
84	784	教職員安全衛生管理事業	教育局健康教育課	教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進する。	義務教育学校4校に学校衛生委員会を設置する。 教職員の長時間労働やメンタルヘルス対策のため産業医を配置する。	過重労働やメンタルヘルス対策への位置づけと学校職員の安全及び健康を確保することができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
85	785	給食センター運営審議会事務	教育局健康教育課	給食センター運営の重要事項を審議・助言し、円滑な運営を図る。	学校給食の運営に関する重要事項について運営審議会を開催し審議する。	今年度2回の審議会を開催し、「つくば市学校給食センター整備方針（案）」及び「つくば市学校給食における地産地消推進ガイドライン」について、審議することができた。
86	786	給食センター管理事業	教育局健康教育課	安全な学校給食を提供する。	建物の法的な点検、害虫駆除及びボイラー等の日常点検を行う。 厨房備品及び施設修繕等を行う。 筑波学校給食センター、すこやか給食センター豊里、ほがらか給食センター谷田部については調理業務を委託する。	給食施設や厨房備品等を修繕し、調理業務及び施設管理業務委託の管理を行い、円滑に給食を提供することができた。（小中学校172回、幼稚園146回）
87	787	給食食材放射性物質測定検査事業	教育局健康教育課	学校給食に提供する食材の安心・安全を確認し、保護者の不安を払拭する。	毎日2施設分の給食センターに係る前日納品の食材4品目と毎日1施設分の給食センターに係る給食一週間分を独自に検査し、結果をホームページ上で公開する。	食材の放射性物質検査測定値を市ホームページに掲載し、公開することで学校給食食材の安全性を周知できた。
88	788	給食費滞納整理事業	教育局健康教育課	学校給食費滞納額及び学校在籍者未納額の削減	在学中の児童生徒については、各学校が徴収・未納対策に努め、卒業・転出等で事務移管を受けた者については健康教育課が滞納額縮減を行う。 ※行政改革アクションプラン「42学校給食費の滞納額の縮減」	児童手当からの未納給食費の申出徴収により、21人から537,180円を徴収することができた。
89	789	学校給食食物アレルギー対応事業	教育局健康教育課	児童、生徒の安全な学校生活	事故防止に努めるとともに、緊急時に迅速に対応できるよう学校、保護者、教育局で連携を図る。	給食実施前に、エビメン講習会を実施し、教職員等のアレルギー対応に関する知識の向上を図ることができた。
90	790	給食配達業務事業	教育局健康教育課	各給食センターで調理した給食を各学校・幼稚園へ確実に配達する。	各学校・幼稚園への給食の配達（業務委託）	新型コロナウイルス感染症拡大による学校の臨時休業に伴い、予定していた業務実施回数に変更が生じたが、委託業者との協議により、実施した代替業務等の実績も踏まえ、変更契約を締結し、円滑に業務を履行することができた。
91	793	協働的な遊びや様々な体験の充実	教育局学び推進課	子どもたちの資質・能力や非認知能力を育むための研修を通して、保育士の指導力や専門性を高める。保幼小接続カリキュラムを通して保幼小の円滑な接続や連携の充実を図る。	こどもの非認知能力を向上させる研修を実施し「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した保育法について知見を深める。 保幼小の交流を計画的に実施し異年齢との関わりを通して様々な体験活動の充実を図る。 アプローチ、スタートカリキュラムを通して円滑な保幼小の接続や保幼小の情報交換の充実を図る。	計画指導訪問時の指導を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿や非認知能力の育成を推進した。 保育施設・学校間での幼児・児童の交流が困難であったため、同一施設内での異年齢交流の工夫や、環境構成の工夫を通して協働的な遊びや様々な体験の充実を図った。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
92	794	中学校学校保健管理事業	教育局健康教育課	生徒の健康の保持増進を図る。	各学校に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、生徒の健康管理や学校環境衛生の管理に努める。 学校飲料水等の安全確保と水質保全のため、必要な水質検査を実施する。 学校管理下における生徒の災害に対して、その保護者に対する災害共済給付金の請求等の手続きを行う。	健康診断等を実施し、生徒の健康管理と学校環境の維持向上を図ることができた。
93	795	研究指定校支援事業	教育局学び推進課	指導法や教材の開発、教職員の資質の向上を図り、児童生徒の学力を向上させる。	市教育局で教育研究のモデル校を指定し、指導法や教材の研究開発に対し指導・助言をする。	オンラインで発表会を行ったことで、市内全教職員が参加することができた。 研究指定の2年間をとおして、本市教育大綱キーワードである「教えから学びへ」の方向性を示すことができた。
94	796	教職員の各種研修事業	教育局学び推進課	教職員の資質及び指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上を目指す。	発表会を開催 市教育委員会主催の各種研修講座に講師を招き、視察研修を実施	向上すべき教職員の資質能力を重点化し、講座数を削減することができた。 オンライン、オンデマンド研修を取り入れ、効率のよい研修方法を開発した。
95	797	つくば市サイエンスキッズリーグ事業	教育局学び推進課	児童生徒の理科教育・科学教育への興味関心を高め、国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加し活躍できる人材を育成する。	科学について市内児童生徒5～8年生が1チーム3人のチーム戦で筆記による科学についての共通課題へ取り組み、決勝リーグで実験実技の競技（サイエンスキッズリーグ）を開催する。 児童生徒の理科教育・科学教育への興味・関心を高め、「科学の甲子園」や国際的な科学オリンピック等にも積極的に参加する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。
96	798	学びの広場サポート事業	教育局学び推進課	教職員の資質の向上を図る。	市内全小学校及び義務教育学校の4、5年生並びに中学校及び義務教育学校の7、8年生を対象として「学びの広場サポーター」を夏季休業期間中を中心に派遣し、学習を支援する。	市内全45校で事業を実施することができた。学習サポーターを活用した3小学校では、「算数の学習が楽しい」、「計算の力が身に付いた」と答えた児童が増加した。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のための休校に伴い、夏季休業期間が短縮されたことを受け、学習サポーターの活用を断念せざるを得ない学校が多かった。
97	799	学習指導助言事業	教育局学び推進課	教職員の資質の向上を図る。	各学園学校の実態と発達段階に応じ、各教科領域の指導目標を達成するために効果的な指導方法について共に考え、適切に助言する。	新型コロナウイルス感染拡大予防のための臨時休校があったため、計画指導訪問実施時期が例年とは異なり、9月から12月の実施となったが、分科会の持ち方の工夫で、つくば市教育大綱の理念実現のための授業改善を図ることができた。
98	800	学校教育指導方針の作成事務	教育局学び推進課	つくば市の教育方針について、市の教職員や視察者に示す。	学校教育指導方針を作成する。	指導方針を作成することで、教職員及び視察来庁者に、つくば市の教育を周知することができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
99	801	研究奨励助成事業	教育局学び推進課	主体的で先進的な取り組みの学校を助成することで、市内学校の教育力の向上を図る。	自主的・組織的に研究に取り組もうとする学校に研究奨励費を助成し、研究の支援を行う。	秀峰筑波義務教育学校、前野小学校、竹園東小学校、東小学校、谷田部東中学校の5校に研究奨励費を助成した。
100	802	小中一貫教育推進事業	教育局学び推進課	子供の成長の連続性の保証を実現する。	効果的な経営・運営方法や学習・生徒指導等について、適切に助言する。	吾妻学園、高山学園の2学園が2年の研究指定の成果を発表した。発問を核とした学習活動の工夫を通して「教え」から「学び」の実現に向けた児童生徒をつなぐ指導の在り方を究明した吾妻学園、UDの視点を取り入れた授業づくりをとおして学ぶ意欲を高め自己有用感を育んだ高山学園、と学園それぞれの特色を生かした小中一貫教育の成果を発表した。
101	803	弁護士によるいじめ防止授業実施事業	教育局学び推進課	いじめを起こさない学校づくりに資する。	法の専門家である弁護士から、専門的視点で助言を受けるとともに、チームティーチング形式でいじめの防止対策のための授業を行う。	弁護士という立場から、いじめについて話をしてもらうことで説得力があった。 具体的な事例を知ることで、改めていじめが許されない行為であることを確認できた。 Zoomを活用することで、多くの学級で講義を視聴することができた。
102	804	学校生活総合質問調査委託事業	教育局学び推進課	学校生活アンケート及び各学校調査において、支援を必要とする児童生徒の状況を把握する。	市内各学校の小学4、5、6、中学1、2、3年生対象の紙面質問方式による学校生活状況や意識調査を包括的に調査・分析を実施する。	児童一人一人の実態把握に役立てるとともに、面談等で保護者とも共有できた。 今後の生徒指導に活用が期待できる。
103	805	国際理解教育推進事業	教育局学び推進課	異なる文化や考え方を尊重する態度を育む。	日本語指導においては、日本語の理解が十分でない児童生徒が学習や生活に支障がなく適応できるようにするための支援が必要である。 また、国際理解集会については、児童生徒の多文化理解を促進するために、各学校または学園単位で国際理解集会等を実施し、外国の文化や考え方に体験的に触れる機会を設けている。	日本語指導ボランティアについては、他機関との連携により、ボランティア人材を確保し、児童生徒の学習面や生活面での適応を支援することができた。国際理解集会については、従来の規模や形態での実施が困難だったが、オンラインを活用したりすることで、33校中31校が実施できた。集会を通して、児童の他文化への興味関心を高めることができた。
104	806	つくば科学出前レクチャー事業	教育局生涯学習推進課	最先端科学技術都市としての特性を生かし、大学や研究機関等の協力を得て、科学教育の推進を図る。	学校等の希望により、事前に登録した研究機関の연구원等と連絡調整し、現役연구원等を専門テーマの講師として派遣する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて取り組んでくれた学校があった。
105	807	つくばちびっ子博士事業	教育局生涯学習推進課	最先端科学技術都市としての特性を生かし、大学や研究機関の協力を得て、子どもたちに科学技術に触れさせ、楽しみながら科学への興味や関心を高めさせる。	市内の協力研究機関等を子ども達がスタンプラリー形式で見学し、見学期間（夏休み）終了後、提出された専用バポートの内容により、最優秀ちびっ子博士・優秀ちびっ子博士・ちびっ子博士に認定し、認定証と記念品を授与対象者は、全国の小中学生	新型コロナウイルスの影響により、事業中止

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
106	808	つくば科学フェスティバル事業	教育局生涯学習推進課	青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせる。	市内の各学校、高校、大学、研究機関等がつくばカピオを会場に科学実験等を出展。青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせるイベントを実施する。	新型コロナウイルスの影響により、事業を中止したが、つくば科学フェスティバルの代わりに科学動画配信事業を行った。
107	810	つくば未来塾事業	教育局生涯学習推進課	生徒の学習支援	大学生（筑波大学及び近隣地域の大学と連携）及び地域ボランティアを市内全中学校及び義務教育学校へ派遣し、生徒の学習支援を行う。	生徒の学習支援において、地域住民の協力を得られた。学校側の要望にあった、学習チューターの配置を行うことができた。
108	811	学校図書館司書教諭補助員配置事業	教育局学び推進課	児童生徒の学校図書館利用や読書活動の活性化を図る。	学校図書館司書教諭補助員の主な業務として整理、照会、貸出し等、司書教諭の補助 司書教諭は、学級担任や教科担当と兼務であるため、司書教諭補助員を配置し、児童の読書環境を整えていく。	市内小中学校、義務教育学校に図書館司書教諭補助員を1名ずつ配置した。（勤務日は児童数に応じて週3日から5日。義務教育学校には2名配置。） 各学校の司書教諭の補助として、学校図書館の運営に当たり、児童の読書環境を整え、学校図書館の活性化を図ることができた。
109	812	理科支援員等配置事業	教育局学び推進課	小学校及び義務教育学校理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに、小学校及び義務教育学校教員の理科指導力の向上を図る。	研究者や教員のOBなど理科が得意な人材（理科支援員）を小学校及び義務教育学校に派遣（5、6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片付け等の支援を行う。） 1学級につき35時間、147学級（小学校29校と義務教育学校4校の理科支援員延べ37人）で実施	観察・実験の準備や理科室や理科準備室の環境整備が充実した。教員と支援員が協力して理科授業や理科実験を行うことで、教員の指導力の向上が図れた。複数体制で授業を行うことで、実験事故の未然防止や安全に実験を行うことができた。
110	813	派遣指導主事の配置事業	教育局学び推進課	市の学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集や学校・地域への発信、教育相談、各学校や園への指導・助言を組織的に推進し、市の学校教育の一層の充実と振興を図る。	教育指導課に派遣指導主事（総研・教育相談センター含）を配置し、学校運営の指導や各教科の指導・研究及び科学教育事業等を行う。 いじめや不登校など学校生活への不適応や人間関係に苦しむ児童生徒・保護者の相談に対応する。	9月から12月に計画指導訪問（市内全45小中義務教育学校、全16幼稚園）を実施。 市研究指定校5校を訪問し、発表会に向けた指導、生徒指導訪問、特別支援指導訪問等を実施。 これらの訪問指導を通して、教職員の資質向上を図ることができた。
111	814	学校教育指導員の配置事業	教育局学び推進課	学校教育指導員を配置し、学校教育及び幼稚園教育の充実及び進行を図る。	教員からの学校運営に関する相談や保護者からの学校への要望等に対し、迅速かつ的確なアドバイス等ができるように、専門的な知識をもつ「学校指導員」を任用する。	学校及び幼稚園訪問を実施し、教員の学校運営に関する相談や保護者対応等、的確にアドバイスを行った。 4月から3月で学校教育指導員2人で320回の訪問を実施した。
112	815	特別支援教育支援員配置事業（学校）	教育局特別支援教育推進室	一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援	特別な支援や配慮を必要とする児童・生徒の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことを目的として、当該児童・生徒が在籍する公立小中学校・義務教育学校に会計年度任用職員（特別支援教育支援員）を配置する。	令和2年度末までに136人の特別支援教育支援員を市内39校に配置し（年度途中においても3名を任用）、児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導・支援を行うことができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
113	816	特別支援教育支援員配置事業（幼稚園）	教育局特別支援教育推進室	一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援	特別な配慮や支援を必要とする幼児の安全を確保するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うことを目的として、当該幼児が在籍する公立幼稚園に会計年度任用職員（特別支援教育支援員）を配置する。	年度末までに、市内全園16園に41名の特別支援教育支援員を配置することにより、幼児一人一人のニーズに応じた適切な支援を行うことができた。
114	817	特別支援教育教職員研修会事業	教育局特別支援教育推進室	教職員の発達障害に関する理解促進、特別支援学級等における授業の質の向上	各園・校に所属する管理職、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任教諭、特別支援教育支援員等を対象に、特別支援教育や発達障害等に関する研修会・協議会を開催する。	管理職対象の研修は学園ごとの少人数開催とし講師が出向いて実施したことで管理職の意識が大きく変わり、学校主体の校内研修実施に繋がった。その結果、教員全体の意識にも変化が見られ、児童生徒の実態把握に特別支援教育の視点が適切に加わるようになった。
115	818	教育相談事業	教育局教育相談センター	社会的自立の援助や教育機会を確保、教育上の諸問題に対する解決の方向性を示し、事態の拡大や深刻化を未然に防止する	市内在住の幼稚園児や小中義務教育学校児童生徒及びその保護者や教職員を対象に電話相談及び面接相談を実施する。 学校へ行きにくくなっている児童生徒に適応指導教室による援助、指導を行う。 学校生活サポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを学校に配置し、児童生徒及び保護者へのカウンセリングや悩み相談、環境改善や関係機関との連携を通して、問題の解決を目指す。	新型コロナウイルスの影響で、面接相談が100件ほど減少したが、電話相談は600件以上と昨年の3倍となった。教育支援センター（適応指導教室）の延べ出席日数も昨年度より減少しているが、4月5月の学校休校による影響を差し引いて考えるとほぼ横倍に推移している。学校での相談体制強化のため、SS・SC・SSWを配置・派遣することで、相談機会の確保が図れた。
116	823	つくば市教育相談センター維持管理事業	教育局教育相談センター	利用者が快適な環境のもとで安心して相談や活動ができるようにする。	施設の補修及び維持管理 清掃や警備委託等 業務に必要な備品等の購入、借用及び維持管理	週2回の館内清掃、年3回のワックスかけ、年1回の窓ガラス・カーペット清掃の実施。中庭（高木1本を含む）植木剪定を年1回実施。網戸設置やLED照明への交換と、軒下6か所の破損修繕実施。
117	824	情報教育振興事業	教育局総合教育研究所	児童・生徒の情報活用能力の育成を図るため、学校ICT教育推進委員に対する研修会等を通じ、本市全体の情報教育の水準向上を目指す。	市内の学校に勤務する教職員の中から学校ICT教育推進委員を32名選出し、研修会を定期開催する。 また、総合教育研究所職員や学校ICT教育推進委員が、文部科学省等が開催する外部研修会へ参加することを通じ、他自治体の状況等に関する見識を深めるとともに、本市からの外部発信も併せて実施する。	主に次の事業を実施し、情報教育に関する知見を深め、その成果を学校現場へ還元した。学校ICT教育推進委員32名に対し、配信による定期研修及び集合研修1回を実施した。全日本教育工学研究協議会全国大会に、総合教育研究所職員3名が参加した。つくばチャレンジングスタディや学習者用端末に関するリーフレットを作成、配付した。
118	825	小中学校プレゼンテーションコンテスト事業	教育局総合教育研究所	プレゼンテーションコンテストの開催を通じて、児童・生徒の発信力や表現力の向上を図るとともに、「つくば次世代型スキル」を広く周知する。	つくばスタイル科での学習成果を児童・生徒がスタディノートを使用してまとめ、電子黒板等に映し出してプレゼンテーションを行う。校内審査を経て選出された学校代表作品によって、決勝大会を実施する。	学びの場にプレゼンテーションの機会が多く提供されたことで、児童・生徒の発信力や表現力の向上を図ることができた。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から決勝大会をオンライン方式による開催へ変更した。これにより、市内全ての学校において大会の模様を視聴することが可能となり、新しい開催スタイルの可能性を感じた。
119	826	ICT機器・ネットワーク・ホームページの維持管理事業	教育局総合教育研究所	学校現場におけるICT機器の利活用環境を維持し、業務の効率化を図る。	総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、つくば市教育用ポータルサイトの維持管理を行う。 学校現場で運用されるネットワーク機器、コンピュータ端末等に関するヘルプデスク機能を担う。	主に学校ICT指導員が、学校からの問い合わせに対する回答、要請に基づく訪問等を随時実施した。 総合教育研究所及び学び推進課の公式ウェブサイト、教育用ポータルサイトの維持管理を実施した。 学校現場でのICT機器利活用をサポートする会計年度任用職員としてGIGAスクールサポーター5名を任用した。（※予算は、小学校費及び中学校費のICT教育推進に要する経費に各々計上。）

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
120	827	SDGsシールコンテスト事業	教育局総合教育研究所	SDGs（持続可能な開発目標）をテーマとした、シールデザイン・アニメーションのコンテスト開催を通じて、その理念を児童・生徒、保護者、地域等に向けて周知していく。	市内の児童・生徒がSDGsの17の視点をテーマに作成したシールデザイン及びアニメーションのコンテストを開催し、優れた作品に対する表彰や優秀作品の学校内外での掲示を行う。	令和2年度は、シールデザイン部門5,309作品、アニメーション部門251作品の応募があり、児童・生徒のたくさんの想いが詰まった作品が集まった。受賞作品は、当所が開設するウェブサイト「つくばキッズ」内に公開した。また、本コンテスト開催と併せて本市独自の教科である「つくばスタイル科」においても、SDGsの理念を理解するための単元を設定し、教職員及び児童・生徒への周知、理解を図った。
121	828	つくばスタイル科の振興事業	教育局総合教育研究所	各学園において本市独自の教科である「つくばスタイル科」の取組が円滑なものとなるよう支援する。	市内の教職員をメンバーとする「つくばスタイル科ワーキンググループ」を編成し、単元プランの作成・見直しを実施するとともに、その成果を「つくばスタイル科単元プラン集」として取りまとめ、本教科で実施すべき内容を各学校へ周知する。また、「環境かるた大会」の開催を通じ、児童・生徒の環境への意識向上を図る。	ワーキンググループの研修会を通じて単元プランの見直しを随時実施し、学習内容を洗練した。つくばスタイル科の授業に各種専門家の講演等を取り入れ、学習内容の充実を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度の「環境かるた大会」は開催を中止した。
122	829	教員のICT活用指導力向上研修事業	教育局総合教育研究所	市内の教職員に対し、ICTの効果的な活用のための研修を行うことで、授業力や実践力の向上を図る。	各学校から選任されたICT担当の教職員を対象として、ICT機器の効果的な活用のための悉皆研修を設定し、実施する。また、各学校からの随時の要請に応じ、情報担当指導主事や学校ICT指導員の訪問による研修を実施する。併せて、研修に必要なICT機器を整備する。	各校1名（教務主任又は情報教育担当者）を対象した悉皆研修として、5月14日に学校ICT教育研修講座を実施し、教職員の授業力や実践力の向上を図った。また、各学校からの要請に応じ、随時の訪問研修を実施した。
123	830	教職員研修補助事業	教育局総合教育研究所	教職員の自己研修や共同研修に必要な費用を補助し、教職員の資質向上を図る。	各校に勤務する教職員が専門的知識を養うために実施する自己研修や共同研修について、その費用を補助する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講師を招いての集合研修や外部研修会への参加の機会は減少したが、主に研修用図書や研修用教材を使用した個人研修や校内研修を通じ、各教職員の専門的知識の向上、指導法・授業力・実践力の向上等が達成できた。
124	831	教職員研修事業	教育局総合教育研究所	市内の教職員に対し、学級経営等に関する悉皆研修及び特別研修等を実施し、教職員として求められる資質・能力、授業力、実践力等の向上を図る。	研修講座の実施（悉皆研修、特別研修講座等）	主に次の研修を開催した。悉皆研修2講座（学級経営研修講座、美しい日本語で歌おう研修講座）、特別研修講座（ISAK研修「学校経営力向上講演会」）、特別希望研修講座（「プログラミングを音楽の授業に取り入れよう」）他
125	832	教育に関する調査・研究事業	教育局総合教育研究所	児童・生徒の学力、意識等の変容を捉えるとともに、本市の教育による児童・生徒、教職員の変容等を明らかにする。	アンケートや各種調査を行い、児童・生徒の学力や意識等の変容を捉える。各学園での教育実践の取組や教職員、児童・生徒の意識について、その変容を調査する。調査によって明らかとなった本市の教育の成果等を、広報誌やホームページ等を通じて、保護者や地域、全国に向けて発信する。	本市が取り組むSDGsに対し、教職員の意識を高めることを通じて教育課程内においても積極的な実践への啓発を行うことができた。新学習指導要領の柱のひとつとなる情報活用能力育成の現状把握ができた。
126	833	小中一貫教育推進体制の整備事業	教育局総合教育研究所	本市の小中一貫教育の理念を教職員に周知し、理解を深める。	教職員研修を通じて、小中一貫教育への理念の平準化を図る。小中一貫教育全国サミットに参加し、見識を広げるとともに本市の小中一貫教育の成果について発表する。本市の小中一貫教育に関するパンフレットや資料等を作成し、教職員や視察者に取組と成果を広報する。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から小中一貫教育全国サミットの開催が中止となった。また、市内の教職員に対する小中一貫教育の周知については、計画指導訪問等の学校訪問時に実施した。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
127	834	つくば市総合教育研究所維持管理事業	教育局総合教育研究所	研修会場及び学校現場のICT機器に関する諸業務を所管する部署としての総合教育研究所の維持管理	施設の修繕及び維持管理に関する各種業務の委託（電気安全管理、消防設備点検、施設警備、敷地内清掃、植栽維持管理、貯水槽清掃等）、総合教育研究所内で使用する情報機器の購入・賃借等に関する契約の締結他	施設修繕や維持管理に関する各種業務委託を実施し、安全で使いやすい施設環境を維持した。
128	835	小学校事務用パソコン整備事業	教育局総合教育研究所	情報機器の整備を通じて教職員の事務の効率化及び軽量化を図るとともに、校務の情報化を推進する。	校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用	校務用コンピュータ端末の配備を拡充した。 令和3年1月から校務支援システムの運用を開始した。
129	836	中学校事務用パソコン整備事業	教育局総合教育研究所	情報機器の整備を通じて教職員の事務の効率化及び軽量化を図るとともに、校務の情報化を推進する。	校務用コンピュータ、センターサーバ、複合機、印刷機、校務支援システム等の整備・運用	校務用コンピュータ端末の配備を拡充した。 令和3年1月から校務支援システムの運用を開始した。
130	837	小学校ICT教育推進事業	教育局総合教育研究所	ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、子供たちがこれからのグローバル社会で活躍するために必要な「つくば次世代型スキル」や「情報活用能力」を育む	小学校及び義務教育学校（前期課程）における教育用コンピュータ（児童1人につき1台整備される学習者用端末を含む）、電子黒板、学習支援システム等の整備	文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に次の成果を得られた。市長公約である「児童1人当たり1台の教育用コンピュータ端末の配備」が完了した。ICT機器の円滑な運用を担保するため、校内ネットワークの高速化に関する機器整備を実施した。教育用コンピュータ端末の円滑な運用に不可欠な充電保管庫を全普通教室へ配備することができた。
131	838	中学校ICT教育推進事業	教育局総合教育研究所	ICT機器を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、子供たちがこれからのグローバル社会で活躍するために必要な「つくば次世代型スキル」や「情報活用能力」を育む	中学校及び義務教育学校（後期課程）における教育用コンピュータ（生徒1人につき1台整備される学習者用端末を含む）、電子黒板、学習支援システム等の整備	文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、各事業を実施し、主に以下の成果を得られた。 市長公約である「生徒1人当たり1台の教育用コンピュータ端末の配備」が完了した。ICT機器の円滑な運用を担保するため、校内ネットワークの高速化に関する機器整備を実施した。教育用コンピュータ端末の円滑な運用に不可欠な充電保管庫を全普通教室へ配備することができた。
132	839	幼稚園事務用情報機器整備事業	教育局総合教育研究所	情報機器の整備を通じて園務の効率化及び軽量化を推進する。	複合機及び印刷機の整備	複合機及び印刷機の調達により、教職員の園務負担を軽減した。
133	840	社会教育振興事業	教育局生涯学習推進課	つくば市における社会教育の振興を図る。	社会教育委員の助言や指導を元に市の社会教育施策を実施し、環境美化コンクールの実施や社会教育主事の配置を通じて、市の社会教育行政の充実化を図る。地域づくり・「社会力」養成講座（社会教育講座・保育所講座）の開催。 ※行政改革アクションプラン「76環境美化コンクール参加団体への支援」該当	ウェルカムフラワールの参加団体に対する周知活動の結果、応募団体（22団体）は昨年度（21団体）を上回る参加団体があった。 保育所の保護者に対して社会教育講座を実施することで、家庭での教育力を高め、子供の健全育成に役立たせることができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
134	841	地域改善地区集会所維持管理事業	教育局生涯学習推進課	高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供する。	集会所の維持管理及び施設の貸出等の委託	施設の維持管理業務を委託することにより実施したほか、設備の法定点検を実施することにより、施設管理を適切に行った。 また、老朽化所について必要に応じた修繕を実施し、快適な利用環境を提供することができ、地域の交流の場としての目的を果たすことができた。
135	842	家庭教育学級支援事業	教育局生涯学習推進課	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てる。	家庭教育学級・家庭教育セミナーの開催 学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催。 社会教育指導員11人を生涯学習推進課に配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。	コロナ禍により、保護者同士が集まって課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会等を実施することが困難な状況であったが、家庭教育学級向け動画を作成し、オンデマンドやオンラインにより、家に居ながらも学べる機会を提供することができた。
136	843	生涯学習審議会開催事業	教育局生涯学習推進課	市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにする。	生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために、調査審議する審議会を開催する。	第2次計画を終え、これまでの取組を検証し、生涯学習推進に向けての新たな「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定をした。（開催日程8月3日・10月28日・2月26日）
137	844	つくば人間学講座	教育局生涯学習推進課	文化創造の一助及び生涯学習の推進を図る。	実行委員会を設置し、講座の内容・講師選定など、企画全般を行い、協働で講座を開催する。	企画から実施まで、市民（実行委員会）が主体となり、協働で、時代や市民のニーズを反映したテーマの講座を開催することができた。新型コロナウイルス感染症の拡大により、年4回の開催のうち3回の開催を見送ったものの、オンラインによる同時中継で記念講座を実施した（1/16）。これにより、若年層から中高年層まで幅広い参加者が学ぶ場として、市民の生涯学習の推進を図ることができた。
138	845	出前講座事業	教育局生涯学習推進課	生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与する。	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策に関する講座等を行う。 ※行政改革アクションプラン「81つくば市出前講座の推進」該当	職員が出向き、市の取組や施策等について講義を行うことができ、市民の市政についての理解や関心を高めることができた。
139	846	生涯学習指導者情報提供事業	教育局生涯学習推進課	市民の生涯学習意欲を満たす。地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図る。	生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報を提供をする。	学習を希望する市民に対して、希望に沿う指導者を紹介することで、市民の生涯学習の推進を図ることができた。 情報提供数45件 新規登録数9件登録者総数245件
140	847	市民研修センター管理運営事業	教育局生涯学習推進課	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与する。	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者を活用し、適切な維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。	施設管理者から好評を得ている。従前と同じ法人が指定管理者となっているため、施設の設置目的や特徴を熟知しており、職員等の変更もないことから、これまでと同様の施設運営と利用者サービスを行うことができ、社会教育・生涯学習の拠点として目的を達成することができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
141	848	さくら民家園施設管理事業	教育局生涯学習推進課	郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝統文化の継承に寄与する。	日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。	建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。 コロナ禍の緊急事態宣言発令に伴い、施設の閉館期間が長期に行われたため目標値には至らなかった。 業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。
142	849	青少年健全育成事業	教育局生涯学習推進課	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにする。	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議が行えるか苦慮していたが、感染防止対策を徹底のうえ、支部長会議を2か月に1回のペースで実施し、また「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動について（8/18）、県南県民センター青少年指導員の講師を招き、店舗訪問の基本的な活動内容や方法について、講師による講義で学ぶとともに、青少年を取り巻く最新の情勢の理解を図ることができた。
143	850	青少年を育てるつくば市民の会補助	教育局生涯学習推進課	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図るため。	青少年の健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。	新型コロナウイルス感染症に注視し、検温、手指消毒を行い「家庭の日」絵画・ポスター展示会を実施したことで、明るく楽しい家庭づくりの活動を積極的に推し進めることができた。また、つくば警察署が開署されたことに伴い、「子どもを守る110番の家」をリニューアルし、市内各小学校へ配布し、子供達の安全を図ることができた。
144	851	つくば子ども会育成連合会補助	教育局生涯学習推進課	団体が行う子どもたちの健全育成活動を支援する。	子どもたちの健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、子供達の安全を守るため各支部の事業を中止することにした。
145	852	成人式開催事業	教育局生涯学習推進課	新たに20歳を迎える市内の若者が一同に会し、大人への門出を祝うことで、社会の一員としての自覚と責任を養う。	新成人による実行委員会を立ち上げ、自らが成人の集いを企画し、当日の運営に参画する。 広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことで、実行委員会と協議し、つくば市成人の集いの開催を中止と決定（1/4）し、新成人及び関係者に周知を図った。中止に伴い、成人の集いで予定されていた実行委員長や市長による挨拶等の動画配信を行った。なお、式典に代わり新成人の皆様をお祝いするために新成人に一人1万円の「つくば市特別成人祝金」を支給を行った。
146	853	青少年体験学習事業	教育局生涯学習推進課	自主的な活動や体験により、青少年の自己肯定感や自己有用感を育むとともに、社会力を育成する。	市内在住在学の中高生を対象に、企画募集して、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習の実施を行う。 自主活動の支援を図り、青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進 青少年の企画を募集し実現する「この指とーまれ！」 つくばの科学と自然を体感「つくばサイエンスラゴ」	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「この指とーまれ！」キックオフ（8/12）、ドリームフェスタ（11/7）、和太鼓・けん玉・ダンス、青少年体験学習「夜の観察教室地中にあるセミを探そう」（7/24）、「小田城を見学&勾玉づくり体験！」（8/1）を安心して参加できるよう実施した。つくば市の地域資源を活用し豊富な自然環境を体感することで自己肯定感を育み、自然や歴史の興味や関心を高めた。
147	854	文化財保護審議会事業	教育局文化財課	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議する。	文化財保護行政全般について、広範な知識を持つ外部有識者と市民委員により、適切に公平に審議 任期2年の委員10名による会議を年2、3回開催 必要に応じて各種文化財の現地調査を実施	文化財保存活用計画に基づき、前年度事業（事務事業及び予算事業）の実績及び成果を報告するとともに、今年度事業（事務事業及び予算事業）の予定及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、「史跡平沢官衙遺跡保存活用計画」の策定に当たっても、同様に意見を聴取することができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
148	856	市管理文化財維持管理事業	教育局文化財課	市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財、周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承する。	文化庁、茨城県及び市文化財保護審議会、文化財保護指導員その他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財を適切に維持・管理・整備等を実施市指定史跡保存のための民有地の賃貸借史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換	コロナ禍により市加盟協議会による研修会等のほとんどは中止となったが、市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や谷田部藩陣屋跡解説板の修繕を通じて指定等文化財の維持管理が適切にできた。また、小田城跡での草刈り等について、地元団体や住民による景観美化を検討し来年度からの改善の目的が立った。
149	857	民有文化財補助事業	教育局文化財課	市内に所在する民有の国・県・市指定や国登録その他の文化財の継承に必要な経費を補助することで、当該文化財を保護する。	指定・登録文化財の管理・修理について、所定の手続を行いながら、その経費の一部を予算の範囲内で補助	コロナ禍の影響により市指定民俗文化財2件で交付決定した補助事業の廃止が生じたものの、市指定民俗文化財田倉の三匹獅子保存事業、国重要文化財大塚家住宅の火災報知器点検事業、同挿し茅修繕事業、市指定文化財随翁院本堂・一ノ矢八坂神社拝殿での火災報知設備設置事業の計5事業に対して補助をすることで、適切な保存・維持管理・修繕等工事ができるような所有者への支援ができた。
150	859	市史編纂事業	教育局文化財課	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝える。	保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。） 史・資料集の刊行整理・解読後の史・資料について、史・資料集を刊行未発見史・資料の調査及び記録記録の写真、デジタルデータ化を行う。 市関連史・資料の入手（古書店等からの購入を含む。）	昨年度調査で撮影した史料のうち、刊行できなかった分の解読・原稿作成を実施できた。また史料1件の寄贈を受けるとともに、流出した史料を購入するなど、市史関連史料の収集・保全を行うことができた。 デジタル化の分野では、市史関係写真のデジタル化を実施するなど、将来的な保存に向けた取り組みを実施することができた。
151	860	小田城跡保存事業	教育局文化財課	国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるように復元整備する。	土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収 復元整備は、H21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施、合わせて展示機能を持つ案内所の建設を完了	史跡内1425.82㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施し、8月までに地権者交渉で合意した。教育委員会への報告や税控除のための税務協議を行い、11月に契約、登記を完了させた。小田城跡歴史ひろば遺構復元ひろば案内所北側隣接地を購入できたことで、史跡小田城跡の保存を行うことができたとともに、今後の活用の用地となった。
152	861	つくばスタイル科の振興	教育局学び推進課	つくばの未来を担い、国際社会で活躍できる人材を育成する。	「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全・防災」の4単元を9年間の系統性を図りつつ、つくば次世代型スキルを身につける。	つくばスタイル科環境単元を通して、SDGsの観点から持続可能な環境問題について考え、発信することができた。
153	862	小田城跡確認調査事業	教育局文化財課	買収した土地等、「小田城跡」の地下状況を把握、確認する。	国指定史跡「小田城跡」の本丸周辺部（遺構保全ゾーン）、約71,000㎡のうち、4,500㎡を目安に平成9年度～令和3年度（現地調査はH30年度まで）で発掘調査及び整理調査を実施	報告書刊行に向けて、26年度～30年度現地調査の詳細整理を実施した。また木製品2点の保存処理を行った。詳細整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができたほか、木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。
154	863	文化財展示施設管理事業	教育局文化財課	市内の出土文化財、史料、民俗資料等や復元整備した史跡の保存と展示を行う、市文化財展示施設等の収蔵資料や施設の維持管理	収蔵資料の収集及び適切な管理 申請に応じた施設使用・資料利用への対応 施設の維持管理のための法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等を専門業者に委託して実施 ※桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。	桜歴史民俗資料館の空調設備工事等の実施により、施設や収蔵資料を良好な状態に保つとともに、資料貸出業務を通じて市内外の方々に市の歴史と文化への理解を深めてもらい、あわせて学術の発展に資することができた。長い間の課題であった保管施設について、旧豊里庁舎の利用を開始した。また『史跡平沢官衙遺跡保存活用計画』を策定し、今後の保存や活用の方向性を示すことができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
155	864	金田官衙遺跡保存事業	教育局文化財課	中根・金田台特定土地区画整理事業内の歴史緑空間用地に含まれる国指定史跡「金田官衙遺跡」の土地を保存する。	H15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」等により、史跡内の公有地除く約7.3haを、国庫補助を受けて同機構からH22～33年の12年計画で買収	昨年度に意見具申し、今年度10月に史跡として追加指定された3筆1,285.48㎡を含む、6,500.03㎡を12月にURから買収したことで、文化財を保全するとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れた。
156	865	学校での伝統文化教育支援事業	教育局文化財課	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝える。	出前講座・文化財施設見学説明 学校教諭対象の説明研修会の開催 つくば市の歴史や文化財を教育現場で活用しやすい形にまとめ、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供	感染症の影響により展示施設説明及び出前講座は回数は少なかったものの、出前講座では可能な範囲で資料を持ち込むなどの工夫をし、また小中学生を主対象とした「夏休み歴史・文化財相談室」を開催することで、児童・生徒たちが郷土に関心と愛着を持つ機会を増やすことができた。また、中止となった教職員研修の代わりに資料を配布したことで、学校教育への支援ができた。
157	866	文化財展示講座等事業	教育局文化財課	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与する。	展示施設や市庁舎を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施 古文書読解等の文化財講座の実施 平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催	コロナ禍により、史跡活用催事と古文書講座は中止となり、展示施設の来館者数も大幅減となったが、巡回企画展は期間を短縮して開催でき、企画展1,565人、講演会58人、体験学習18人の来場者・参加者を得た。アンケートの満足度も高く、実施によって歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むことができた。また、ジオパーク室との共催により、観光やシティプロモーション等の活性化にも寄与できた。
158	867	図書館及び視聴覚センターの維持管理事業	教育局中央図書館	市民の生涯学習の拠点である、中央図書館及び視聴覚センターを安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行う。	年間を通して施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等の施工等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。	新型コロナウイルス対策のため予算を減額し、一部の事業について状態を確認し、翌年度に先送りすることとした。 各修繕については、計画どおりに執行し、市民が安全で快適に使用できるよう適切な維持管理を行うことができた。
159	868	読書推進事業	教育局中央図書館	読書活動の推進と図書館利用の推進を図る。	学校訪問ブックトーク、団体貸出し（調べ学習の支援・学級文庫支援） ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。	コロナにより各種イベントの多くが中止となったが、実施できたものにより読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。
160	869	自動車図書館の運営事業	教育局中央図書館	市内のいずれの場所においても均質な図書館サービスが受けられるよう、地域図書館としての役割の一部を担う。	市内47か所に設けたステーションに火曜日から土曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。 各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。	図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。
161	870	障害者の生涯学習支援事業	教育局生涯学習推進課	障害者の生涯にわたる多様な学びの充実を図る。	文化芸術やスポーツなど、障害者へ多様な学びの機会を提供する。	筑波技術大学で受託している障害者の生涯学習支援に関する事業の協議会の構成員として連携・協力を図ったほか、障害者向けの講座として茶道講座（10/31）を実施し、障害者が自ら生涯学習に取り組むことのできる環境整備を図ることができた。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
162	871	図書館ボランティア事業	教育局中央図書館	図書館事業の支援とボランティア自身の生涯学習の一環とし、ボランティア活動の機会を提供するとともに、図書館の事業拡大の一翼を担う。	図書館のボランティアに登録し、図書館の支援や生涯学習の一環として、その知識・技能を無償で提供いただく。	図書館ボランティアの活躍により、図書館サービスを充実させることができた。また、市民に活躍の場を提供できた。
163	872	読書環境の充実と集いの場の創出	教育局中央図書館	人や本がふれあう交流拠点として、気軽に自由な図書館利用を促進する。	会話や飲食可能な状況下で読書環境を提供するライブララリーピクニックを行う。	新型コロナウイルス感染症により、感染防止の観点からライブララリーピクニックの実施や他部署、他団体等が主催するイベント等への自動車図書館等での参加を見送った。
164	873	つくば市図書館協議会運営事業	教育局中央図書館	図書館法第14条に基づき設置され、図書館の運営について館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なう図書館奉仕につき館長に対して意見を述べる。	図書館協議会を開催し、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機会を設ける。	つくば市図書館協議会を開催し、図書館に対する意見を頂いた。
165	874	図書館資料の収集、整理及び保存事務	教育局中央図書館	市民のニーズや潜在需要から図書を選定し、またつくば市に関する資料を収集し、図書館利用者の利用に供する。	利用傾向や市民要望を判断しつつ図書資料、視聴覚資料を購入し、利用のため資料を整理し保存する。 収集及び購入の参考や利用者の資料検索のため資料データの整備や業務を円滑に行うためシステムの保全を行う。	適切な資料を受け入れ、利用サービスに供した。図書資料の受入は19,905冊、うち寄贈が528冊。視聴覚資料の受入は466点、うち寄贈が17点である。
166	876	図書館の資料の貸出事務	教育局中央図書館	基本的な権利のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供する。	つくば市在住、つくば市通勤、通学者及び保育園、小学校等の団体利用者に対し貸出利用カードを発行し、図書資料及び視聴覚資料の貸出しをする。また、旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す。	利用カードを発行し、資料の貸出を行うことで、生涯学習に寄与した。
167	877	調査・研究の支援事務	教育局中央図書館	利用者が調査・研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行う。	参考資料を充実させる。また、電話やインターネットからの調査・研究の質問を受け付け、専門職員から資料情報を提供する。	利用者の調査研究の支援を行った。
168	878	図書返却事業	教育局中央図書館	借りた図書を返却できる場所を増やし、利便性の向上に資する。	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターで図書資料の返却ができるようにする。	市内各所で図書を返却できることで、利用者の利便性が向上した。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
169	879	オンライン地域交流センター図書室運営事業	教育局中央図書館	市内のいずれの場所でも均質な図書館サービスが受けられるよう、円滑な運営と地域図書館サービスの向上に資する。	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・葦崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託する。	交流センター図書室の資料や環境を整備し、地域交流センター図書室の利便性を向上させた。
170	948	教育支援委員会運営事業	教育局特別支援教育推進室	特別な支援や配慮を必要とする未就学児及び在学児童・生徒について、個々の実態に応じた適切な教育措置の内容等を決定する。	つくば市教育委員会の附属機関として「つくば市教育支援委員会」を設置し、特別な支援や配慮を必要とする未就学児及び在学児童・生徒に関する適切な就学先や教育措置の内容等について、各分野の専門家による審議を定期的実施する。	諸事情により継続困難となった委員3名については新たな委員3名を任命し、コロナウィルス感染防止対策による学校の休校措置等を考慮して年間9回の教育支援委員会を開催した。審議対象幼児・児童生徒について適切な就学及び措置変更に繋げることができた。
171	949	特別支援教育相談事業	教育局特別支援教育推進室	未就学児並びに在学児童・生徒の実態の把握及び各在籍園・校並びに保護者への必要な支援	未就学児を対象とした就学相談、在学児童・生徒を対象とした教育相談を通じ、特別な支援や配慮を必要とする者の実態を把握するとともに、各幼稚園・学校への巡回訪問を実施し、必要に応じて随時各園・校に対する指導及び助言を行う。	保護者等の来所による就学・教育相談は約500回（前年度約430回）、幼稚園・学校等への調査や観察訪問は約550回（前年度約500回）電話による相談等は約3,100回（前年度約2,800回）を実施した。令和2年度は相談や訪問に関わる職員に臨床心理士が加わり、幼稚園への巡回相談回数を増やすことができた他アセスメントに必要な諸検査の実施も増えた。
172	981	各種文化財基本調査事業	教育局文化財課	市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をする。	各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である。各種文化財の実態把握により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施	悉皆調査では、巨樹・古木調査成果の刊行物の原稿の一部を作成し、来年度以降の事業の基礎となった。 国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。また、解体された解脱寺の彫刻がある部材9点を回収・保管し、社寺建築に関する貴重な資料が蓄積できた。
173	982	埋蔵文化財調査・保存事業	教育局文化財課	市内に所在する埋蔵文化財について、文化財保護法等で定められた調査・調整等の手続きを行い、保存措置を講じる。また、重要遺跡の調査・保存や出土品等の保管・活用を行う。	各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、各種開発等に伴う試掘・確認調査・非営利目的での本発掘調査等、民間調査機関による記録保存調査の調整 重要な遺跡の保存・活用を検討するための内容確認調査	埋蔵文化財の有無照会（文書200件、窓口等2,392か所）に対応し、手続き等を適切に行った。また各種開発に伴う試掘・確認調査39件、本発掘調査2件を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織が実施した本発掘調査について、調整・協議・監督を行った。なお本発掘調査等で得た出土品や調査成果は市の貴重な財産になった。また令和2年度は重要遺跡の保存・活用のための調査は実施していない。
174	983	文化財サポーター事業	教育局文化財課	市民が歴史や文化財に触れる機会、市の文化財行政を知る機会を作る。	解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催 講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設や文化財の解説のほか、学校支援業務への協力、文化財の見回り、イベント時の補助、展示作成時の補助などを実施	10月～3月に谷田部・桜地区の解説を目標とした第2回解説ボランティア養成講座を開催、修了者6名のうち新規登録者5名で、計15名となった。 11月にはボランティア参加の展示解説を実施した。また、年間を通じて、民間のボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施。市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。
175	1008	小学校管理運営事業	教育局学務課	児童の豊かな人間性を育み、創意と活力に満ちた学校運営を図る。	消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。	小学校及び義務教育学校（前期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。

令和2年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
176	1009	中学校管理運営事業	教育局学務課	生徒の豊かな人間性を育み、創意と活力に満ちた学校運営を図る。	消耗品費や光熱水費等、各学校の実情に合った予算執行管理を行う。	中学校及び義務教育学校（後期課程）に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な学校運営に寄与した。
177	1010	幼稚園管理運営事業	教育局学務課	幼児の豊かな人間性を育み、創意と活力に満ちた幼稚園運営を図る。	消耗品費や光熱水費等、各園の実情に合った予算執行管理を行う。	市立幼稚園に適正な予算令達及び執行管理を行い、円滑な園運営に寄与した。
178	1014	小学校及び中学校体育連盟補助事業	教育局教育総務課	児童及び生徒の体力の増進及び豊かな人間性の育成並びに教員の指導力の向上を図る。	つくば市内の小学校で構成されている「つくば市小学校体育連盟」及び中学校で構成されている「つくば市中学校体育連盟」に、下記事業の開催を支援するため、補助金を交付する。 1陸上記録大会、総合体育大会、新人体育大会の開催 2指導者実技講習会等の開催 3審判技術講習会等の開催	児童生徒の健康増進及び心身の健全な発達、成長を図ることができた。また、教員の指導力向上を図ることができた。